不知火っ子だより

第５号

平成 28 年 8 月 23 日　文責　校長 吉永博美

夏休み終了！前期後半スタート

「一生懸命がんばったから楽しかった。」と言える毎日を！

例年より一週間早い授業のはじまりです。子どもたちは、朝から汗を流しながらも元気に登校しています。午前中とはいえ、厳しい暑さですので、水分補給や、エアコンがある教室の割り当てなど、可能な限りの熱中症対策を行っているところです。さて、オリンピックとともに終了した今年の夏休み。子どもたちにもオリンピックの感動が伝わったのではないでしょうか。夏休み前の集会で柔道の山下泰裕さんの話をし、夏休みにはオリンピックを観て、たくさんの感動や勇気をもらってくださいと、話していました。夏休み明けの集会では、日本柔道チームが、「最強で最高であれ」という教えのもと、メダルをたくさん取ったばかりでなく、練習場の掃除をしたりするなど礼儀正しいことで賞賛されたことや、男子陸上４００メートルリレーでの銀メダルをもとに、チームワークの話などをしました。最後に女子マラソンの福士選手の「オリンピックの前も、オリンピックも苦しかった。でも、がんばったから楽しかった。」と言葉を紹介しました。

前期も後半になりました。子どもたちには、目標に向かって力一杯努力することで、「一生懸命がんばったから楽しかった。」と言えるような毎日を過ごしてほしいと思っています。

夏休み中のプール監視、ＰＴＡ作業、大変お世話になりました！

プール監視は、本当にお世話になりました。事故なくプール開放が終了しましたのも皆様のご理解とご協力のおかげです。子どもたちもずいぶん泳ぎが上達しているようです。また、２１日の親子作業には、ほとんどのご家庭に参加していただき、ありがとうございました。すっきりした環境の中であらたなスタートがきれました。

子どもたちの学習環境等の整備に取り組んでいます。

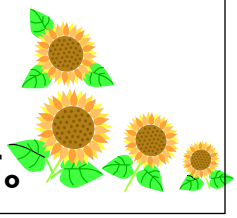
夏休みに、被災した三階の窓の部分を覆う工事を行いました。また、余震の回数も減ってきましたので、立ち入り禁止区域の柵囲みを少しせばめました。せばめたことで西側トイレが使用可能になり、運動場へも行きやすくなりました。トイレは職員でペンキを塗りなおし、明るくなりました。

ご存知ですか？　「不知火町すくすく委員会」

不知火町地域学校保健委員会、通称「不知火町すくすく委員会」は、不知火地域の子どもたちの健やかな成長をめざして、不知火町の幼稚園、保育園、小中学校、民生児童委員、保健師等及び教育委員会等の関係機関で組織されています。

取組のテーマ　**「子ども達が生き生きと意欲的に生活していくための生きていく力と知恵を育てよう！　～不知火町の子ども達を１５年かけてみんなでしっかり育てよう～」**

共通実践項目　**「毎月第３日曜日は　テレビを消して　家庭の日」**

スローガン　**「早寝・あいさつ・朝ごはん」**

ぜひ、各ご家庭でも、取組へのご協力をよろしくお願いします。